

令和6年度事業実績報告書

令和7年4月30日

愛媛県議会議長 福羅 浩一 様

議員氏名 松下 行吉



主な政務活動の実施状況について、次のとおり報告します。

1 調査研究の概要

【県議会がん対策推進議員連盟による先進事例の調査・研修】

○目的 長年日本人の死亡原因第1位を占めてきた“がん”に関して、県民が適切な医療、その他のサービスを受けられるよう、全国の先進事例を調査し、県政に提言し反映する。

○調査内容 2月6日から7日の二日間で、静岡県立静岡がんセンターと京都市立桃陽総合支援学校の視察・研修、意見交換を行った。

○概要 ・2月6日松山空港から羽田に飛び、新幹線を使って静岡県長泉町にある県立静岡がんセンター研究所を訪問。同研究所「しおさいホール」で山口名誉総長ほか関係者と面談。静岡県の取組みについて説明を受け、意見交換を行った。

・静岡県は2001年2月に、以前から検討してきた富士山麓先端医療産業集積構想（ファルマバレー構想）を策定。この構想は、同県駿東郡長泉町に開院する静岡がんセンターを中心に、高度な研究開発と医療健康産業振興・集積を図るもので、現在第4次戦略計画が進んでいる。

・我々が訪問した静岡がんセンターは、①がんを上手に治す②患者と家族の徹底支援③成長と進化の継続を3つの約束として掲げ、手術支援ロボットや陽子線治療など最先端医療を導入している。陽子線治療施設は、全国で19か所（中四国では岡山県のみ）しかない。

・また、ファルマバレープロジェクトは「産官学金」連携の下、順調に進んでおり、静岡県の医療品・医療機器の生産額は10年以上連続日本一を続けているとのことであった。

・なお、意見交換会の冒頭、山口名誉総長から愛媛県が早い時期に愛大医学部を設立、また、（独）四国がんセンターの移転新築などに取り組んだ実績に対し、称賛の言葉がある。意外な感を受けるとともに、外からの評価を得て初めてその真価を知る自分自身に忸怩たる思いがした。

・2月7日新幹線で京都に移動。伏見区にある京都市立桃陽総合支援学校を訪ねた。同校は、病気（がん）により入院療養している子どもが治療を受け



ながら教育が受けられるよう設置された総合支援学校（弱者教育に取り組む学校）であり、本校と5つの分教室を受け持っている。また、訪問教育も行っている。対象は小中学生のみならず、入院中の高校生への学習支援も行っている。愛媛県がん対策推進計画において重要課題に掲げる「がん治療中高校生の学習環境の確保」に関して、先進的な取り組みを行っていた。

・同日、伊丹空港から松山空港に移動。松山空港で解散した。

○結 果 今回の視察・研修では、医学（がんの治療）、産業（医療機器・薬品の開発・製造）、教育（幼少期のがん罹患者に対する取組み）といった多くのことを学ぶ事ができ、今後の議員活動に活かして行く。

【県議会防衛議員連盟による自衛隊基地の視察・研修】

○目 的 国防状況の視察研修と、自衛隊員の激励

○調査内容 2月12日から13日の二日間で、広島県呉市にある海上自衛隊呉基地と、江田島市にある海上自衛隊第1術科学校及び同幹部候補生学校の視察・研修、地方総監ほか幹部の表敬訪問を行った。

○概 要 ・2月12日海上自衛隊呉地方総監部を視察・研修。福田海将（呉地方総監）ほか幹部を表敬訪問。海上自衛隊の現状等について話し合う。特に自衛隊員のなり手不足は深刻で、隊員確保が最優先の課題と改めて感じる。
・2月13日江田島市にある第1術科学校及び幹部候補生学校を視察。また、教育資料館を見学し、日本海軍の先人の遺徳を偲び、国防の重要性を認識した。

○結 果 議員活動等、特に防衛議員連盟の委員として活動に活かした。

その他の政務活動の概要

【政務活動広報誌の発行】

○目 的 県政の動きを広報する。

○概 要 年4回の定例議会を中心に予算の状況や県議会の活動状況をまとめた「県政活動レポート」を作成し配布した。

○結 果 県民に県議会と愛媛県政の動きを知らせた。